

新川会通信

第38号

発行

社会福祉法人新川会

〒930-0362

上市町稗田字七郎谷1-32

Tel(076)472-1118

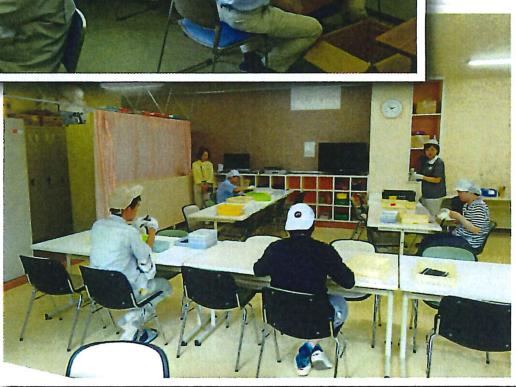
Fax(076)472-5391

E-mail yotsubaen@niikawakai.jp

HP http://www.niikawakai.jp/

発行責任者 倉田 淳

すまいる



この度は、つつい苑が十周年を迎えた事をお祝い申し上げます。いつもお世話になつております。平成十九年十月にセラピー滑川と四ツ葉園滑川分場が合併、平成二十年四月に開業され現在のつつい苑があります。妹が地域で懐かしい仲間と再会できて私もうれしく思いました。

つつい苑は、行田公園と隣り合い、身近に豊かな季節のうつろいを感じられる恵まれた自然環境に囲まれている事を常日頃から幸せに思っています。昨年の秋、親睦会があり家族で参加させて頂き、富山市ファミリーパークや海王丸パークに行きました。新湊きっときと市場にも寄り、とっても楽しい日でした。さらに交流の輪が広がつたことを大にしたいです。今年八月には、さつき苑とつじ苑の交流行事があり、合同ミュージックケアが行われました。つつい苑と共に、皆様と歩んでもいく事ができ感謝しています。

妹にとつても、今年は節目の年になるのではないかと思っています。「子の子らを世の光に」という、糸賀一雄さんのお言葉に共感しました。障害を持つ人々は、社会の片隅に置かれた存在ではなく、輝ける光の存在だということ。障害について光を当たした時に障害を深くみつめる事で激動の時代の謎に真の答えが出てきます。日本の社会だけでなく、世界のしくみまでにも連鎖するひとつ道になるのです。この実が、希望や幸福の光になると私は思っています。日常から生活の中で、平和のために、私達ができるることは沢山あるとう事を発信できれば幸いです。今後もつつい苑の安全と発展を願い、祈っています。

祝つつい苑創立十周年

つつい苑保護者会長 正田 家族

正田 和夫 恵梨

生活介護 日中活動・作品紹介

今年度、四ツ葉園（生活介護）の日中活動はどのような取り組みをしているのか紹介していきます。各班が主に行っている活動や今年度、力を入れている所に焦点を置いてお伝えします。

作業グループ

リサイクル班



メンバー持ち前の若くパワフルな面を生かして、アルミ缶プレス作業やアルミ缶のプルタブ外し作業を主に取り組んでいます。

アルミ缶プレスの作業は、缶を引き取ってもらった際の収入も大きいですが、反面体力が必要な作業です。今年度は、暑い時期には職員手製の「梅ジュース」を作業が終わった際に飲んだり、「楽しい場面」を設け、それを励みにメンバーの皆さんは毎日作業を頑張っておられます。

手芸班



手先の器用さを生かして、裂き織物・編み物・パーラービーズ作品を製作しています。

今年度は裂き織りに力を入れておらず、裂き織しならぬたためには使用しないためには細かく作業、切り糸玉にする作業を行います。どの工程でも集中力が必要になりますが、継続して行うことで、最初は布を切る作業が難しかった方も、今ではどんな模様の着物でも真っ直ぐ切られるほど上達しています。

特集

四ツ葉園

工芸班



主に生産活動に取り組み、利用者の方が主体となって働く喜びを感じてもらえるような活動内容を目指しています。

特に畑作は収穫など楽しみを持てる活動である反面、天候に左右されることから思っているようにはいかないことがあります。植え付けのプランを立てるなど、職員が利用者の方に選択する場面や意見を引き出す場面を創りながら励んでいます。

療育グループ

ほのぼの班



介護予防運動やセラピーを行いながら、貼り絵や造形活動、畑で農園栽培を行っています。

今年は貼り絵に力を入れており、毎月季節に合った作品を製作し、園内で展示して他の利用者に見てもらうことで製作し出来たことへの喜び、次の作品への意欲向上をしています。

やまびこ班



療育活動、創作活動を中心に行なっており、今年はアロマキャンドル・つまようじアートの制作を行っています。

アロマキャンドル作業中はキャンドルからラベンダー・ローズ・バニラの良い香りが漂い「いい匂いだね」「この香り好き」と話しながら出来上がったキャンドルを一つずつパッケージしています。

作品紹介



『タペストリー 一輪挿し』 1,000円

着物を使って作っています。いろんな色の縦糸と着物の横糸が交差して、味わい深い反物が出来上がります。



『花台』 300円

磨いた大き目の切株に、バーナーで焦げ目をつけた物です。



『よもぎの湯』 150円

上市産のよもぎを天日で乾燥、粉碎しました。お風呂に入ると温まります。



『アロマキャンドル』 150円

やまびこ班で作ったアロマキャンドルは、ラベンダー、ローズ、バニラの良い香りが漂います。



『牛乳パック椅子』 500円

毛糸の編み物を商品にしようと取り組み始めました。牛乳パックで作った椅子のカバーです。



『ミサンガ』 100円

ほのぼの班のミサンガは丁寧にてんぶ編みをしていき、仕上げにビーズをつけた作品です。



八月三日に七夕の会を行いました。今年も上市町赤十字奉仕団の方々にボランティアで参加していただき、色とりどりの短冊か牛乳パックで作った椅子のカバーで事の話をしながら一枚一枚集中して願い事を書き込んでいました。壁に立てかけた時には皆さんのカラフルに彩られた願い事でいっぱいでした。最後に赤十字奉仕団の方にお渡ししました。



八月三日に七夕の会を行いました。今年も上市町赤十字奉仕団の方々にボランティアで参加していただき、色とりどりの短冊か牛乳パックで作った椅子のカバーで事の話をしながら一枚一枚集中して願い事を書き込んでいました。壁に立てかけた時には皆さんのカラフルに彩られた願い事でいっぱいでした。最後に赤十字奉仕団の方にお渡ししました。

七夕の会



八月五日四ツ葉園納涼祭を行いました。天気に恵まれ、園内外からたくさんの方に来て頂きました。今年も上市高校吹奏楽部に迫力ある演奏を披露して頂き、毎年恒例となりつづいています。



市町マスコット

つるぎくもん

なんと交流しま

た。

八月五日四ツ葉園納涼祭を行いました。天気に恵まれ、園内外からたくさんの方に来て頂きました。今年も上市高校吹奏楽部に迫力ある演奏を披露して頂き、毎年恒例となりつづいています。

納涼祭

うか。よいでの夏休みは、つてはよいでの夏休みではないでしょ。



夏の思い出



ヤー!

雷鳥苑だより

八月四日に立山町赤十字奉仕団主催で、釜ヶ淵小学校の五年生の生徒さんとの交流会が行われました。

作業では、リサイクル作業と工芸品づくり

を皆さんに体験してもらいました。

いきました。リサイクル作業の体験では、「とっても大変」と言いながら大汗をかいて頑張ってくれました。利用者さんが手を添え助ける微笑ましい場面も見られました。

昼食の流しそうめんや午後から七夕作りも盛り上がり、釜ヶ淵小の生徒さんにとってはよいでの夏休みの思い出でした。

たのしい 交流会

雷鳥苑夏祭り

八月十九日に雷鳥苑敷地内で第十三回目となる夏祭りを開催しました。

今年の夏は雨が多く、当日も怪しい曇り空でしたが、何とか雨も落ちず無事に行なうことが出来ホッとしました。

舟橋町長をはじめ、たくさんの方が足を運んでくださり、利用者さんの元気な歌や踊りを見て頂くことが出来ました。各種模擬店・ゲームも盛況で見に来られた方々から「楽しかった」という声が多数聞くことが出来ました。今回も多くのボランティアの皆さんに助けていただき、ありがとうございました。

工房よつばだより

遠足

七月二十日に宇奈月温泉街へ遠足に行きました。

セレネ美術館では、

黒部峡谷にまつわる絵画を鑑賞し、美術館で開催されているスタンプパック作り

を体験しました。いろいろなスタンプがある中で、自分の好きな物を選び、自由な並べ方で押してオリジナルのバッグ

に仕上りました。昼食は事前にみんなが選んだ、黒部名水ティアの皆さんに助けていただき、ありがとうございました。

トロッコから見る景色がきれいでした。



いろんなスタンプがありました



トロッコから見る景色がきれいでした



岩がせまっていて、パワーを感じました

いしく食べてお腹いっぱいになりました。トロッコまでの乗車を待つ間、ジャンボスイカのソフトクリームを食べたり、お土産を買いました。

トロッコに乗車し、きれいな景色とお菓子を楽しみながら櫻平駅到着に。とても暑い日でしたが、トロッコの中は風を切って涼しく感じました。櫻平駅の周辺を散策し、頭の上までそそり立っている岩（人食い岩）に驚きながら、集合写真を撮りました。宇奈月温泉駅に戻り、足湯につかりました。一日歩いた足を癒すように、ゆっくりと・・・。帰りの車中では、スタンプパックや買ったお土産を見せ合い、最後まで遠足を楽しんでおられました。



さつき苑だより

遠足

六月二十六日

(月) 遠足がありました。今年は利用者の皆さんのお望を取り入れ、水見番屋街と氷見市海浜植物園に行つてきました。

番屋街では、氷見でとれた新鮮な魚のお刺身とつみれ汁がメインの船頭御膳を堪能しました。利用者の皆さんは、水見の新鮮な魚に大変満足した様子でした。



次に訪れた、氷見市海浜植物園では、温室で南国に自生している植物をメインに植栽展示されました。普段中々見ることのできないパインアップルやヤシの実など珍しい植物に皆さん目を輝かせ、食い入るように見ていました。帰りの道中では、雨晴海岸や新湊



つつじ苑だより

夕涼み会

八月四日(金)

につじ苑で夕涼み会を行いました。

利用者の皆さんか

ら運営に参加したいとの要望が年々強くなっています。今年は模

と焼きそばの調理を一緒に行いました。

チョコバナナは、溶かしたチョコレー^トにバナナを付けてトッピングチョコを振りかけて完成です。チョコレートにバナナを付ける姿はとても緊張しておられました。



夕涼み会のフイナーレはみんなで七夕飾りを囲んで炭坑節を踊りました。練習では恥ずかしくて踊りたくないと言っていた方が本番になると一緒に踊つていた姿が印象的でした。保護者も一緒に踊つて下さり、つつじ苑がひとつになつた感じがしました。

協力して下さったボランティアの皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。

焼きそばは、家でよく作つたり、

つじ苑の遠足で作つたりしたこともあり、手慣れた様子で調理に取り組んでいました。チョコバナナとは違い、リラックスして調理に取り組んでおられました。



休みの日は自分達で作ります!

グループホーム支援

主任支援員 藤井 佑美子

五月から地域生活相談室に勤務し、グループホームの支援をするようになりました。最初に関わりをとになりました。皆さんと一緒に、皆さんが自分の身の回りのことや当番活動などの役割をやりがいを持って行い、生き生きと生活を送っていると感じました。家庭的な温かい雰囲気の中、生き生きと生活ができるのは、世話人が毎日バランスのとれた美味しい食事を作つて提供し、掃除や洗濯等を丁寧に教えて良き相談相手になつてくださつていています。

今後、グループホームで支援していく上で大切にしたい事は、利用者の方と信頼関係を築けるように話を聞くだけでなく心の声も汲み取れるように気を配つていきたくです。些細な体調や精神的な変化に気がつけるように日頃からのコミュニケーションを大事にし、少しでも利用者のニーズに応えるように自分自身も色々な知識を高めていきたいと思います。ある方は高齢なので健康で安心した生活を約束できるように、ある方は若くて可能性があるので経験を積んで少しずつでも自立に向けてステップアップできるようにと、一人ひとりが個性を輝かせることができます。



自立を目指しています。

地域相談室だより

主任支援員 藤井 佑美子

五月から地域生活相談室に勤務し、グループホームの支援をするようになりました。最初に関わりをとになりました。皆さんと一緒に、皆さんが自分の身の回りのことや当番活動などの役割をやりがいを持って行い、生き生きと生活を送っていると感じました。家庭的な温かい雰囲気の中、生き生きと生活ができるのは、世話人が毎日バランスのとれた美味しい食事を作つて提供し、掃除や洗濯等を丁寧に教えて良き相談相手になつてくださつていています。



自立を目指しています。

幸せを実感できる支援

支援員 林 麻希

研修報告

北陸地区大会に参加して

支援員 廣瀬 智紀

「第五四回北陸地区知的障害関係施設職員研究大会」に参加し、毎日新聞社論説委員の野澤和弘氏がコーディネートするシンポジウムを拝聴しました。テーマは「幸せを感じできる支援」で、昨年七月に発生した相模原市「津久井やまゆり園」の事件は、障害者の生存権を脅かすと同時に、支援に関わる私達にも様々な問題が投げかけられていたという話でした。その中で利用者が本当の幸せを感じ過ごすことができるようになり、利用者の二ーズに応えるように自分自身も色々な知識を学びました。

私はこの大会の分科会でグループホームの発表をさせていただきました。機会がありました。あらためて利用者が何を幸せと感じているのかを把握して、一人ひとりの大好きなところを聞き、多くの支援内容があることを聞きました。他にも、私は今回二分科会に参加させていただき、それぞれの施設の支援内容を聞き、多くの支援内容があることを学びました。今回の北陸地区知的障害者関係施設研究大会では、県内だけでなく、県外の施設の方と情報交換や交流ができたと思います。初めてだつたので少し緊張いましたが、またこのような機会があれば勉強して、知識を増やしたいと思います。